



# ハイナイト祈禱課題 2024年11月号

## 1. テロ首謀者シンワルの死と人質救出を覚えて

ハマスの最高幹部で、昨年10月7日のテロの首謀者ヤヒヤ・シンワルが10月16日、死亡しました。

1989年、シンワルは、イスラエル兵とパレスチナ人の殺害と拉致の罪で4回の終身刑を宣告され、イスラエルの刑務所に収監されました。シンワルは、22年間の獄中生活を利用して、<sup>せんめつ</sup>殲滅を狙うイスラエルについて徹底的に学びました。ヘブライ語を習得し、イスラエルのニュース、思想、歴史や政治など幅広く学び、自らを「ユダヤ史の専門家」と称するまでとなりました。獄中、脳腫瘍を患いイスラエル人医師による手術で、命を救われたこともありました。一方、繰り返し脱獄を図り、また、イスラエルとの協力が疑われるパレスチナ人の殺害やイスラエル兵の拉致を、刑務所外のハマスの幹部と共に計画しました。そして、2011年ガザに5年間拘束されていたイスラエル兵1人ととの交換で、イスラエル収監中の1027人ものパレスチナ人テロリストが解放されました。その一人がシンワルでした。刑務所で、シンワルは、イスラエルの命を尊ぶ国民性を学び、利用しました。のちにシンワルは、「人質を取ることは、囚人にとって宇宙一のニュースだ」と人質の利用価値を豪語しました。言葉どおり、昨年のテロで251人が人質となったのです。

シンワルは、人質を自分の命を守る盾にしました。8月末、6人の人質が殺害され、イスラエル中を悲しみの底に突き落としました。あの6人こそ、シンワルの盾とされていた可能性が高いと報じられています。人質発見場所のすぐ近くで、シンワルのDNAが発見されています。6人は、数カ月、わずかな食料で命をつないでいました。シンワルは、イスラエル国防軍の接近を知って、衰弱の激しい人質たちが足手まといになることから、人質を置いて逃げました。その後監視役が、人質



昨年10月7日大規模テロの首謀者ヤヒヤ・シンワルが死亡  
ガザ市民を盾にして、命を捨ててイスラエルと戦うよう扇動  
Israel Defense Forces YouTube "The Full History of Hamas" より

たちを射殺したのです。人質の一人、エデンさんは、発見時体重が36kgとなっていました。

シンワルは、イスラエルのみならず、ガザ全体に多大な破壊と犠牲をもたらしました。ガザ市民を徹底的に盾にして、命を捨ててイスラエルと戦うよう扇動してきました。しかし、自らは、テロ前日に、家族と共に地下トンネルに避難し、1年にわたる逃亡生活を続けてきたのです。イスラエル国民の命も、ガザの人々の命もシンワルにとって、またハマスの幹部にとって価値はありません。シンワルの死は、人質解放の局面とも期待されましたが、ハマスは強硬姿勢を見せています。

今年、ハイナイトでは、人質解放のための同刻祈禱を続けてきました。特にご家族が来日した、ノア・アルガマニさんと、アロン・オヘルさんのために祈ってきましたが、アロンさんは今もガザ拘束中です。お母さまがつくった映像をご紹介します。引き続き人質解放のために、祈り続けましょう。

映像はこちら ▶▶▶



<https://youtu.be/jGT-Dt0ndmk>



**主は彼らを助け 解き放たれる。悪しき者どもから解き放ち 彼らを救われる。  
彼らが主に身を避けているからだ。(詩篇37:40)**

- ①主が人質たちの心と体を支え、天からの希望を与えてくださり、人質たちが生きてイスラエルに帰ることができるように。
- ②人質たちを拘束している者たちに主が働き掛けてくださり、人質返還の決断と実行ができるように。
- ③人質返還交渉に携わるイスラエルのリーダー、またガザで活動する兵士たちを主が大能の御手で支え、知恵と守りを与えてくださるように。

## 2. 日本の治安悪化を覚えて

8月以降、関東を中心に起きた連続強盗事件では、その凶悪ぶりが日本を震撼させました。横浜市では高齢男性が命を奪われ、千葉県では住人の女性が骨折するほどの暴行を受けた上、拉致・監禁されました。ある防犯の専門家は「犯行の内容が暴力的になっている」と指摘します。

法務省によると、日本の犯罪件数は2002年以降、減少の一途をたどってきました。ところが、2022年に増加傾向に転じ、60万件以上に増えました。前年と比べると約5.8%の増加です。翌23年には

70万件を超え、前年を10万件も上回りました。

治安が悪化しているのは日本だけではありません。特に、難民を積極的に受け入れてきたヨーロッパでは治安が劇的に悪化し、難民の受け入れを規制する方向へかじを切った国もあります。日本も外国人の受け入れを拡大する中、文化の違いにより、地域住民との間で摩擦が生じ始めています。

現代は社会情勢が急速に変化する時代です。そのような中であっても、日本の治安が保たれるよう祈ってまいりましょう。

**悪を離れて 善を行い 平和を求め それを追い続けよ。(詩篇34:14)**

- ① 犯罪を起こそうとする者たちの心に主が触れ、犯罪を思いとどまることができるように。
- ② 治安のために働くすべての人が守られ、良い犯罪防止策が与えられるように。
- ③ 海外からの人々の受け入れが拡大する中、地域住民との摩擦が生じないように。

## 3. 子どもたちの心理療法への支援を覚えて

BFPは、イスラエル南部の町ステロットの子ども25人に、心理療法（トラウマ・カウンセリング）への支援を行うことになりました。ステロットは、日本支部が支援する町の一つで、ガザから1.5kmの距離にあります。昨年の大規模テロで、町は一時的にテロリストに占拠され、市民と警察官合わせて70人以上が犠牲となりました。この町には、約20年間にわたり、年間700発ものロケット弾が撃ち込まれ、住民の70%、特に子どもたちの80%がPTSDに苦しんでいると言われてきました。こうした状況から、町には心理療法を行うセンターがあり、今回の支援はこのセンターを通じ

て行われます。

センターによれば、今回の戦争により、市民全員が何らかの形でPTSDの影響を受けているといます。子どもたちは言語障害や集中力の低下による学習障害を抱え、不安から親と離れることができない子どももいます。また、安全上の理由から屋外で遊ぶことができず、発達にも問題が生じています。さらに、怒りの制御が難しい子どももおり、大人も同様の問題を抱えています。適切な治療が行われなければ、町全体が機能不全となる可能性があるとして、センターではガザ周辺の町々の住民に心理治療を提供しています。

**たとい悩みを受けても、主は、その豊かな恵みによって、あわれんでくださる。**

**(哀歌3:32)新改訳第三版**

- ① 主が、BFPの心理療法への支援を用いてくださり、子どもたちの心を癒やしてくださるように。
- ② テロや戦争で傷ついた人々を、主が慰めてくださり、生きる希望と力を与えてくださるように。
- ③ PTSDの根本原因となっているハマスの攻撃がやみ、平和を取り戻せるように。

**「ハイレイトソング」**

視聴・譜面のダウンロード



<https://www.bfpj.org/music/>

**「ハイメール通信」**

祈りの第一声として  
祈禱課題をお届けします(不定期)



<https://www.bfpj.org/pray/chaimail/form/>



特定非営利活動法人 **B.F.P. Japan**(ブリッジス・フォー・ピース)

TEL: 03-5969-9656 FAX: 03-5969-9657 URL: [www.bfpj.org](http://www.bfpj.org)

ハイレイトに関するお問い合わせ: [chainight@bfpj.org](mailto:chainight@bfpj.org)